【認証研修：分野専門／地域社会・多文化分野　１単位】

滞日外国人支援ソーシャルワーク研修

―ソーシャルワーカーとして知っておくべき、滞日外国人支援の基礎―

○日本における在留外国人数をご存知ですか？

日本における在留外国人数は増加傾向にあり、2025 年末には約 412 万人と過去最高を更新しています。30 年前の約 129 万人と比べると約 3.2 倍と大幅に増加しているため、地域で仕事や生活をする中で関わる機会がある方も多いのではないでしょうか。

○ソーシャルワーカーとして働く上で滞日外国人とどう関わっていくか？

本研修では、「多様な文化的背景を有するクライエントを理解する姿勢をもつ」、「滞日外国人の支援を行うための実践力を身につける」、「地域において多文化理解の促進の核となる存在として活躍できるようになる」ことを目指し、滞日外国人支援を基礎から学べるプログラム構成となっています。

○地域コミュニティとのかかわりをどう考えるべきか？

すでに、地域包括支援センター・社会福祉協議会・医療機関・母子生活支援施設等、福祉分野においても滞日外国人と関わる機会が増加しています。

本研修では、ミクロレベルの支援だけではなく、メゾ・マクロレベルの地域コミュニティにおける共生のあり方に焦点を当てた事例も演習で取り扱います。

○滞日外国人支援ソーシャルワーク研修の詳細

1. **日　　程**：2027 年 1 月 24 日（日）10：00～17：40
2. **会　　場**：日本女子大学 目白キャンパス（東京都文京区目白台 2-8-1）
3. **受講対象**：社会福祉士資格を有し、滞日外国人支援に関わっている者または関心のある者
4. **定　　員**：80 名（先着順）

5. **受 講 費**：

	e-ラーニング視聴料	集合研修受講費	受講費総額
会員	4,400 円	6,600 円	11,000 円
非会員	17,600 円	6,600 円	24,200 円

※e-ラーニング視聴料は、講座 4 本の視聴料の総額です

※e-ラーニング視聴料は e-ラーニングシステム上でお支払いいただきます。
　集合研修受講費は別途お振込みいただきます。

6. **修了条件**： 以下を全て満たすこと

①全てのプログラム（オンデマンド講義、集合研修）を受講すること

※30 分以上の遅刻・早退・途中退出は未修了となります。

②事前課題として、オンデマンド講義を視聴してレポートを提出すること

③事後課題を提出し、合格すること

7. **単　　位**：<u>本研修は認定社会福祉士認証・認定機構に認証された研修です。</u>

■取得できる単位：１単位　　■研修認証番号：20250014

■認証科目：分野専門／地域社会・多文化分野／対象者別科目群／対象者別科目（分野共通）

※「高齢分野」「障害分野」「児童・家庭分野」「医療分野」への単位振替が可能です

※日本社会福祉士会生涯研修制度では、専門課程の１単位となります。

8. **本研修のプログラム構成**

本研修は「（１）事前課題（オンデマンド講義）」、「（２）集合研修」、「（３）事後課題」で構成されています。<u>事後課題まで合格しないと単位は取得できません</u>。

（１）事前課題（オンデマンド講義）（10 月 9 日頃～12 月 14 日）

本会 e-ラーニングで以下の４つの講座を事前に視聴いただき、期限までに各講義 400 字程度（計 4 本）のレポートを作成いただきます。

講　義		内　容
オンデマンド講義	講義 1（80 分）	講義「外国人との共生施策の状況」 講師：南野 奈津子 氏（東洋大学）
	講義 2（80 分）	講義「外国人支援の特徴」 講師：森　恭子 氏（日本女子大学）
	講義 3（80 分）	講義「インテーク・アセスメント」 講師：原口 美佐代 氏（大阪バイオメディカル専門学校）
	講義 4（80 分）	講義「支援プランの立案」 講師：坂間 治子 氏（日本キリスト教婦人矯風会）

（２）集合研修（1 月 24 日）　※今後の調整により、時間等に変更が生じる場合があります。

講　義		内　容
集合研修	10:00～10:10（10 分）	開会あいさつ 伊東　良輔 氏（日本社会福祉士会 理事）
	10:10～11:00（50 分）	**【講義】**オンデマンド学習をふまえた共生施策および制度、相談支援の特徴とプロセスについて 講師：南野 奈津子 氏（東洋大学）
	11:00～16:20（260 分） ※昼休憩（12:30～13:20）含む	**【演習】** 事例１　講師：坂間 治子 氏（日本キリスト教婦人矯風会） テーマ：外国人の妊娠女性への支援 事例２　講師：森 恭子 氏（日本女子大学） テーマ：地域コミュニティにおける共生のあり方に焦点を当てた事例
	16:20～16:30（10 分）	休憩
	16:30～17:20（50 分）	**【講義】**総括 講師：原口 美佐代 氏（大阪バイオメディカル専門学校）
	17:20～17:30（10 分）	事後課題の説明 伊東 良輔 氏（日本社会福祉士会 理事）
	17:30～17:40（10 分）	閉会あいさつ 伊東 良輔 氏（日本社会福祉士会 理事）

※昼食は各自でご用意いただきます

（３）事後課題について（2027 年 1 月 25 日～2 月 8 日）

研修全体をとおして、学んだことをどのようにして実践に活かすか、600～800 字程度のレポートを３つ作成いただきます。

レポート①：外国人支援の特徴について
レポート②：インテーク・アセスメントの留意点について
レポート③：支援計画の立案と実践における留意点について
※課題が合格基準に満たない場合は、指定期間内に１回のみ再提出が可能です

9. **申込方法**：以下の QR コードまたは URL から本研修の申込フォームにアクセスし、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

申込フォーム：https://x.gd/jiyky

10. **申込期間**：2026 年 9 月 7 日（月）～2026 年 10 月 7 日（水）まで（予定）
定員数を大きく上回るお申し込みがあった場合には、申込期間内でも受付を終了とさせていただく場合があります。また、受講申込が少ない場合は、開催しないことがあります。

11. **受講可否**：受講の可否は、10 月 9 日頃に、ご登録いただいたメールアドレス宛てにご連絡します。併せて、受講費の納入方法、キャンセルの扱い等についてもご案内します。10 月 15 日までに主催者からの連絡がないときは、下記の問合先にお問い合わせください。

12. **留意事項**：・本研修の受講決定者には、受講にあたり注意事項等をご案内します。注意事項に抵触する行為や、不適切な環境下での受講等と、主催者側が判断したときは、途中退室いただく場合もありますので、あらかじめご承知置きください。
・期限までにご入金がない場合は、受講キャンセルとさせていただきます。
・ご入金後にキャンセルをされた場合は、以下のキャンセル料を申し受けます。
返金が生じる場合は、ご入金額からキャンセル料を差し引いた金額をご返金いたします。
① 1 月 14 日まで：1,000 円
② 1 月 15 日以降：受講費の 100%（後日、資料を送付します）
・自然災害の発生により、やむを得ず 1 月 24 日の集合研修を中止する場合があります。中止の判断基準は、本会・生涯研修センターホームページに掲載している「自然災害等発生時の研修会運営の判断について」をご確認ください。また、開催中止を決定した場合には、本会ホームページ「生涯研修センター最新情報」にてお知らせします。自然災害の発生等により、主催者側が開催の中止を決定した場合、ご入金いただいた受講費は本会加入の興行中止保険の適用範囲内で返金を行います。
・受講者側による原因により、当日受講できない場合の返金は対応いたしかねます。
振替受講やオンデマンド配信等もございませんので、予めご承知置きください。
・申し込みされた個人情報は、本研修の運営以外の目的には使用しません。

13. **主　　催**：公益社団法人日本社会福祉士会

14. **問 合 先**：公益社団法人日本社会福祉士会　生涯研修センター（営業時間：月～金曜日　9：30～17：30）
TEL:03-3355-6541　　e-mail：kenshu-center@jacsw.or.jp

○会場へのアクセスについて

①JR 山手線「目白」駅から　徒歩約 15 分　バス　約 5 分【都営バス（学 05)】
②東京メトロ副都心線「雑司が谷」駅（3 番出口）から　徒歩　約 8 分
③東京メトロ有楽町線「護国寺」駅（4 番出口）から　　徒歩　約 10 分

○Google マップ「日本女子大学 目白キャンパス（東京都文京区目白台 2-8-1)」
https://maps.app.goo.gl/m1bquxoqVqy2X7ve9

○オンデマンド講義のお試し視聴について

以下の URL より、オンデマンド講義のお試し視聴が可能です（YouTube の限定公開）。各講義でどのような内容を学ぶことができるのか、是非ご覧ください。

○オンデマンド講義のお試し視聴

https://youtu.be/d8qm1KBE-fM

（参考）本研修修了までの流れ

時期の目安	
9月7日～ 10月7日	○参加申込受付期間 ※定員に達した場合、受付期間を前倒しする可能性があります
10月９日頃	○受講決定のご連絡 ※定員に達した場合、キャンセル待ちとなる場合がございます
10月９日頃～ 12月14日	○事前課題実施期間（２ヶ月程度） 本会 e-ラーニングで４つの講義を事前に視聴いただき、期限までに 各講義 400 字程度のレポートを作成いただきます ※字数が不足している場合等、再提出を求めることがあります
2027年 1月24日	○研修当日 ※30 分以上の遅刻・早退・途中退出は未修了となります
1月25日～ 2月8日	○事後課題作成期間（２週間程度） 研修全体をとおして、学んだことをどのようにして実践に活かすか、 600～800 字程度のレポートを３つ作成いただきます。 レポート①：外国人支援の特徴について レポート②：インテーク・アセスメントの留意点について レポート③：支援計画の立案と実践における留意点について
2月後半頃	○事後課題審査結果の通知 ※不合格者は事後課題を指定期間内に１回のみ再提出可能です
３月中旬頃	○研修修了者へ修了証の送付